

福 樂 無 窮

無福
窮樂

永觀堂二世法主實光



総本山 永觀堂 禅林寺

右の色紙は管長久我嚴昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県刈谷市早川勝美様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し1名に進呈。

近頃はワイン・ワイン、「私と組めばどちらも得ですよ」という話ばかりです。
裏返せば、私と組まない人は損をしますよということ。おかげでギクシャクした世の中になりました。
「損か得か」、目先のことには囚われていると幸せから遠ざかってしまいます。

大岡裁きに「三方一両損」というお話しがあります。ある日、左官の金太郎は、三両の金が入った財布を拾いました。財布は大工の吉五郎のものとわかるのですが、江戸っ子気質の吉五郎は一度落とした金は受け取らないと言い張ります。金太郎も江戸っ子だから金を返すと言つて譲りません。

そこで名奉行大岡越前が登場。自ら一両を出して合わせて四両。それを二人で分けて二両ずつにせよと。奉行、金太郎、吉五郎それぞれ一両ずつ損をして丸くおさまるというお話し。



佛眼相看

相佛看

永觀堂書



「君看双眼色」

あの良寛に

君看よ 双眼の色

語らざるは

憂い無きに似たり
と読む双幅書の名作がある

そう あなたの身近にも

憂いを見せず

澄んだ眼をした

慈愛の人が必要するはず

でもそれは

語り尽くせぬほどの

辛くて悲しい涙で

洗い流された双眼なのだ

些細なことで

愚痴を言っていたのでは

眼はくすんで曇るばかり

本当のことだが

愈々見えなくなつてくる

右の色紙は管長久我嚴昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、岐阜県岐阜市高井隆子様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

総本山 永觀堂 禅林寺



冬日可愛



可冬
愛日

桜井法主書



冬日可愛
「春秋經伝集解」

冬の太陽は暖かく愛おしい

恩を知り懺悔と感謝
利他の心に包まれた人は
「冬日可愛」の人である

一方 夏の太陽は暑く畏ろしい

何もかもが当たり前
不満に愚痴
自利に固執する人は
「夏日可畏」の人である

政治も経済も
ひたひた忍び寄る
寒い冬の時代
欲するは「冬日可愛」の人

総本山 永觀堂

禪林寺



右の色紙は菅長久我値昭親下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市今栄岐美様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所氏名希望等を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し名に進呈。

究竟涅槃

涅槃究竟

永觀堂(世寅)



夢

世の中全体が
おのれ自身が描いた
不安に包まれている昨今
先の見えない

虹の彼方の
虹影の夢の世界に
憧れるやもしれない

しかし

醒めた目で

真実を見極めれば
今なすべきことが
自すと見えてくるはず

幻影への夢は夢く
そしてただ虚しい
求むべき夢は

智慧の獲得と

淨土極樂往生

右の色紙は管長久我嚴昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市田尻みち子様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所氏名希望等を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し1名に進呈。

總本山 永觀堂 禪林寺

〒606-8445 京都市左京区永觀堂町48 電話075(761)0007

浄土宗西山禪林寺派宗務所

※開宗850年記念事業の情報はこちらから→



同 悲 心

右の色紙は管長久我藏昭親下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市乾公男様に進呈します。

ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。



同事（相手の立場に身を置く）

百箇日法要を、別名「卒哭忌」と呼ぶこともあります。声を上げて泣くという「哭」を終える法要という意味です。家族を失った者が、嘆き悲しみをやめて、平穏な日常生活に戻っていく節目になると言われています。

しかし、遺族の心には、悲しみが癒えるどころか、ますます悲しみが深くなつていく時期もあります。特に大切なパートナーを失った方には、四十九日の頃よりも、沈痛な思いが増していることが多いのです。

百箇日法要を勤める理由は、遺族の心のケアを行うために続いてきたと考えることができます。家族を失つて百日目の頃に、身内が再会して、お互いの様子を確かめ合うとともに、故人への思いを共有するという大切なはたらきがあるのです。

総本山 永観堂 禅林寺



大悲満足

禪亦九十九實也



右の色紙は管長久我藏昭窓下のご染筆です。前々号の色紙は、岐阜県不破郡栗田寛史様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

善導大師が著された『觀經疏』の中に、「私は決して人々を誤らせない。何故なら私は慈悲を満足した人なるが故に。」とあります。

仏さまの大悲は、私達を選んだり差別したりはしません。

私達は、利己に陥りやすい身であること

を忘れてはいけません。

総本山 永観堂 禅林寺

「私は大悲満足なり」
出典 善導大師『觀經疏』

私達にも他人を慈しみ愛おしく思う心があります。

しかし、それを行うのは所詮私達の利己都合です。私達は正しいと信じながらも誤った方向へ突き進むことがあります。時には正義と信じて争うことがあります。私達は人々を慈しみながら人々を誤らせることがあります。私達は「自分の窓」からしか世間を見ることができません。その窓はとても狭い利己の窓です。

〒606-8445 京都市左京区永観堂町48 電話075(761)0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所 ※開宗850年記念事業の情報はこちらから→



会者定離



宝命離者

祥本法主無尽



「会者定離」

出典『遺教經』

古今和歌六帖に、

「あるときは ありの遊びに 語らはで
恋しきものと 別れてぞ知る」

とあります。

「生きている時は、その存在を当たり前と思ふ特に語り合うこともなく、本当は恋しい人だったと、死に別れてから気づくものだ。」
という歌です。

「会者定離」は、「人との別れは避けられない」という仏教の教えです。

「日ごろから人との出会いを大切にしているか」「直お去りに暮らしていいのか」、日々の過ごし方を見つめ直したいものです。

総本山 永觀堂 禅林寺

右の色紙は管長久我徹昭親下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住奥野志野様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望枚数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選で「名に進呈」



重
重
無
尽

尊本法主實光



帝釈天（インドラ）の宮殿は宝の網で飾
られているといいます。細い細い糸が水晶
の宝珠で結ばれて網となっています。ひと
つひとつのが珠はとなりの宝珠と映り合
い、映った珠がまた映りあって、無限に重
なって、まことに美しいのだそうです。一
つの珠にすべての光が映っている。宮沢賢
治は日の出の太陽のスペクトラルをインドラ
の網と表現しています。

私たちの命も他の命とつながって、響き
合って生きています。私たちの想像できな
い程にそのネットワークは膨大です。でも
何一つ欠けても成り立たないので。膨大
だから埋没してしまうのではなく、膨大だか
ら輝きを増すのでしょうか。他の人は関係
ないって何でしょう。利己のとらわれから
抜け出したいものです。

総本山 永觀堂 禪林寺

右の色紙は管長久我儀昭親下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県岡崎市在住鈴木史朗様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し二名に進呈。



諦

觀

永觀九十八歳實記



諦
觀

右の色紙は管長久我巖昭渕下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県朝来市在住谷村妙恵子様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し名に進呈。

私たち、若さや健康、寿命に執着します。
しかし、誰しも老い、病気になり、いつか死を迎えます。その「欲望」と「現実」の乖離が苦しみを生むのです。
佛教では、病や死だけでなく、全ての「苦」は、欲望に起因すると説かれています。
どうしようもない、思い通りにならない「現実」を、思い通りにしたいという「欲望」が「苦」となるのです。そこを諦めよと説いています。
佛教で言う「諦める」とは、ギブアップという意味ではなく、物事の本質を明らかにし、ありのままに観察することを意味します。
穏やかでいられる境地に至るために「諦め」が肝心。

総本山 永觀堂 禅林寺

癌の宣告を受けたAさんがおつしやいました。
「体の状態や原因がよく分からなかつた間は、不安で苦しんだが、病名や今後の方針がはつきりした時、かえって楽になった」と。
病気という現実を受け入れ、原因と対策を明確にすることが、Aさんの苦を軽減させたのです。

諦
觀

攝取不捨

「桜散る こぼる梅に 椿落つ
牡丹崩れて 舞うは菊なり」

往生



永觀堂大世實三



阿弥陀様は、
「我が名を称える者は一人も漏らすことなく極楽浄土へ救いとる」と誓われました。
どのような最期を迎えるとも、お念佛を称え、だれもが等しく「往生」を遂げるのです。

人間には「死」という言葉が用いられますが、ぱっと散ったり、静かに消えゆいたり、どつと崩れ落ちたり、この世に必死にすがり付いたり、様々な最期があります。
それは、決して「終わり」と、ひとくくりに表現できるものではありません。

日本語の表現はとても豊かで、例えば単に「終わり」と一言で表さず、花の種類によつて、それぞれ最期の表現を変えます。

右の色紙は管長久我嚴昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住塙田清美様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し1名に進呈。

総本山 永觀堂 禅林寺

〒606-8445 京都市左京区永觀堂町48 電話075(761)0007

浄土宗西山禅林寺派宗務所

※開宗850年記念事業の情報はこちらから→



慈心相向

心施

誰しも辛い経験はしたくないものです。しかし、その経験があるからこそ、相手の心の痛みがわかり、寄り添うことができるようになるのです。

仏道修行に「心施」というものがあります。思いやりの心を持って他に接する布施、つまり他の為に心を配り、心の底から喜び、心から悲しみ、痛みや苦しみを我がこととして感じ取るというものです。

その行為は菩薩行となり、仏に近づく道となるのです。つまり、辛い経験が自身を幸せへと導いてくれます。

どうか辛い経験によって、自暴自棄になるのではなく、この苦しい経験こそ得られるものが大きいということをわかつてほしいのです。

慈悲向心

釋妙法主實光



総本山 永觀堂 禅林寺

右の色紙は管長久我巖昭潤下のご染筆です。前々号の色紙は、広島県尾道市在住中重力也様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し名に進呈。



願行具足

南無阿彌陀仏

経文法主無尽



【選択本願念佛集】

弥陀如来、ただ称名念佛の一行を
もつて、その本願としたまえる。

「南無阿彌陀仏」と稱えたことで何が変わ
るのだろう。身体の痛みが取れることもな
く、心が軽やかになることもないかもしれ
ない。

お念佛を疑うたびに、わたしは、こころ
の奥底の苦しみに囚われ、疑うたびに、底
知れぬ底に落ちてゆく。そしていつの間に
か、この口から「南無阿彌陀仏」と声が出
ていることに、はたと気づくのだ。
お念佛とは、阿彌陀様が苦しむこのわた
しとともに生きてくださると誓われた行。
わたしが称えているのではない。阿彌陀様
が称えて下さっている。

令和六年は立教開宗八五〇年

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我嚴昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県大津市在住青木八重様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

